




ゴールデンウィークが明け、少し体調を崩しているお子さんの報告が届いています。楽しかったお休み中の疲れが出たのかもしれない。早めに就寝するなどしてゆっくりと身体を休める時間を過ごしてください。

日中は暑く汗ばむ日も増えてきました。新型コロナウイルスだけでなく、様々な感染症にも十分気を付けるようにしましょう。

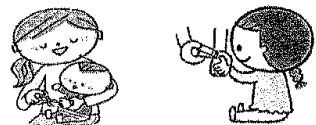
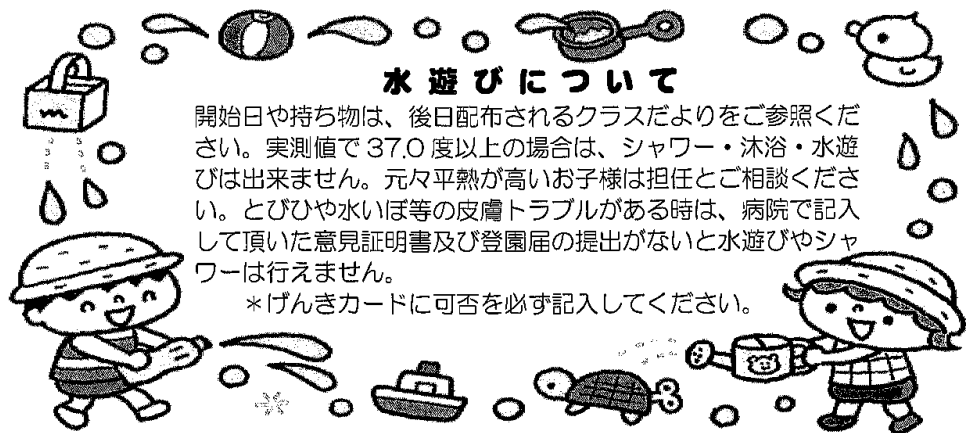


5月18日(水)・19日(木)に内科検診がありました。

受診結果を「けんこうのきろく」に記入していますので、確認の押印またはサインをお願いします。確認後はクラスで保管しますので、ご持参ください。けんこうきろくを持ち帰った時に予防接種等を受けられた時は、必ずご記入をお願いします。

爪はきれいかな？

爪が伸びている子がいます。乳幼児の爪は新生児期よりも爪が伸びる速度は落ち着きますが、大人よりも早く伸びます。爪を切る頻度は手は週に1回、足は2週間に1回を目安に爪を切る曜日を決めて、切るようにしましょう。

水遊びについて

開始日や持ち物は、後日配布されるクラスだよりをご参照ください。実測値で37.0度以上の場合は、シャワー・沐浴・水遊びは出来ません。元々平熱が高いお子様は担任とご相談ください。とびひや水いぼ等の皮膚トラブルがある時は、病院で記入して頂いた意見証明書及び登園届の提出がないと水遊びやシャワーは行えません。

*げんきカードに可否を必ず記入してください。

マスクを着けるときは

マスクを着けるときは、口と鼻を覆って、鼻の部分にすき間ができないようにフィットさせて。子どもがいやがったら、無理に着けるのは避けましょう。3歳以上の子どもがマスクを使うときは、まず、鼻もかくす正しい着け方を伝えましょう。



※2歳未満の子どもにもマスクは不要です。

着け外しできるように練習しましょう

息苦しいときや暑いときに、自分で外せないと危険です。着け方だけでなく、外し方もしっかり練習しましょう。

「外していい」と伝えましょう

具合が悪いときや暑いときに、子どもが自分で外せるよう、「少しでも苦しいときは外していい」と伝えましょう。

汚れたら替えましょう

マスクが汚れたときや、地面に落とした後に、そのまま着けるのは不衛生です。清潔なマスクを使えるよう、替えを持っておくようにしましょう。

まず手洗いがいちばん！

消毒するときには……

消毒用アルコールを使う
手や皮膚の消毒に、次亜塩素酸ナトリウムや次亜塩素酸水などはNG。必ず、消毒用アルコール（エタノール）を使います。

乾くまでしっかりすり込んで
手に消毒薬を取ったら、指先や指の間までしっかりすり込み、乾かします。ふき取ってしまうと、十分に消毒できません。



しっかり保湿する
アルコール消毒を繰り返すと、手が荒れやすくなります。ハンドクリームなどでこまめにケアして、皮膚を守りましょう。

目に消毒液がかからないように、フッシュ式の消毒用アルコールなどは、低い台に載せましょう！



手指消毒用のアルコール等の取扱いには要注意！
誤飲や興味本位でなめてしまい、急性アルコール中毒になった事例もありますので、子どもの手の届かない所に置いたり、大人の監視下で使うことが大切です。